

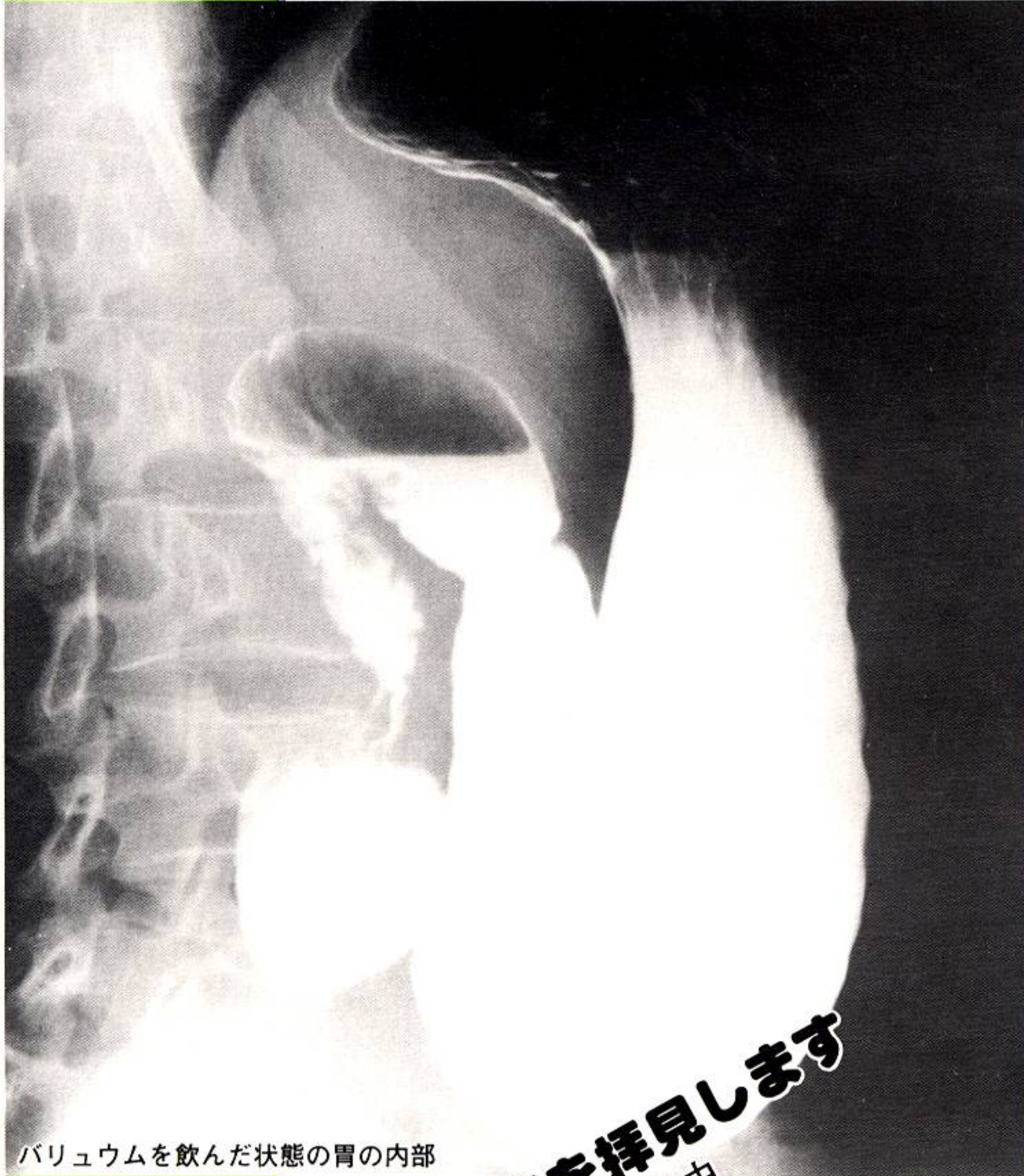


—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- カメラルポ…………… 8・9
- まちの話題…………… 10・11
- みんなのひろば…………… 12・13



バリウムを飲んだ状態の胃の内部



バリウムを飲む検診者



レントゲン室内



胃の内部を写真に撮る技師

広報

あなたの胃を拝見します
胃検診を実施中

胃検診が6月30日からスタート、今月9日まで行われます。この検診は、胃の中にバリウムを入れレントゲン撮影で腫瘍などを見つけ出すもので、胃癌早期発見の最も簡単な方法とされています。昨年は312人の胃に異常がみられ精密検査を指摘されました。胃癌の検診は年2回は必要とされていますが、町で行うこの検診だけは必ず受けていただきたいものです。

8月

いがしゆり

No. 377

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

あきたこまちと由利牛の里東由利町

町発展に 願いを込めて

「あきたこまち」と「由利牛」の産地である東由利町を広くアピールすると共に、町内農家の生産意欲をより一層高めようと、このほど町の中心部の国道老方バイパスわきに「町勢シンボル塔」が建てられました。

このシンボル塔は、高さ約10メートル、幅1メートルの四角柱で、2面に主産業を表徴した「あきたこまち」と由利牛の里東由利町」他の2面には町のスローガン「豊かな自然みんなで拓く町伸びる町」の字句を掲げており、豊かな自然に恵まれている町民の自覚と、今後の町発展への大きな願いが込められています。

全国的に脚光浴びる 「あきたこまち」

「あきたこまち」は、秋田県唯一の銘柄米で、昭和60年から本格的な栽培が始められ、今年は今県で約1、708畝に栽培しています。

本町でも県の重点栽培地域指定を受け昨年42畝、今年148畝に栽培、今後も栽培面積の拡大に取り組んで行くことにしています。

本町は「由利牛」の 素牛生産地

米に次ぐ基幹作目である畜産は、東由利町発展の大きなカギを握っているといっても過言ではありません。

町では、出羽丘陵開発事業などにより畜産の振興に全力を注ぎ、その基盤づくりを急いでいます。こうした施策の成果もあり、肉用牛の飼養頭数はここ10

います。

「あきたこまち」は、おいしい米として全国的に脚光を浴びはじめており、県の積極的なPRと併せ、その消費拡大が期待されています。本町でも、栽培に積極的に取り組み、その産地であることをPRすることが、町の発展に大きな成果をもたらすものと思われます。

年間で2倍近くに伸びました。

しかし、牛肉の自由化などによる影響で畜産経営は依然として厳しい状態にあり、これを脱するには生産費の低コスト化を図ると共に、良質肉用牛の生産に努めなければならないとされています。

こうした中、本荘由利地区で生産される肥育牛は「由利牛」として昭和58年に銘柄牛の認定を受け、本町はその第一の素牛生産地となっています。

今後、その生産を拡大し、名実ともに「由利牛の里」として知られることが町発展の課題であり、そのための肥育牛生産に向けた生産意欲の向上が求められるとされています。

町勢シンボル塔には、こうした町の大きな願いが込められています。



由利牛の資質競い合う 畜産広場で初めての共進会



昨年完成した「畜産広場」で始めて行われた町畜産共進会

第31回東由利町畜産共進会が7月1日、竣工以来初めての「畜産広場」で行われました。

同共進会には昨年より15頭多い92頭の牛が出陳され、農家の方々が丹精込めて育てあげた自慢の牛の、体型や資質を競い合いました。

審査の結果次の牛が優等賞を受賞したほか、団体賞肉用牛部門で高森和牛改良組合、同乳用牛部門で宿地区が1等賞を受賞しました。(一)は出陳者。敬称略。

〔黒毛和種・育成区〕
よしこ(高橋強・須郷)

〔黒毛和種・若牛区〕
第1とちひめ(佐藤貴志・八日町)

〔同・成牛1区〕
ゆり(小野武雄・高屋)

〔同・成牛2区〕

よしさかえ6(畑山藤作・土場沢)

〔同・繁殖雌牛群区〕

すみこ7、とちよし、ますとち(太田行雄・蔵新田)

郡の共進会 乳用牛部門で優等賞

郡の共進会(第22回由利家畜共進会)は、7月16日由利家畜市場(本荘市石脇)で行われ、

本町から町共進会上位入賞の25頭が出陳。審査の結果肉用牛若牛2区で「ゆうずき」(武田玲子・宿)、乳用牛経産ホルスタイン種で「ニューランズシークリスチナ」(大庭喜一郎・舟木)

〔ホルスタイン種・育成区〕
フィーンランドコンフィダン
スミリー(大庭喜一郎・舟木)

〔同・成牛区〕
フィーンランドカウンツノー
ザンホープフタゴ(大庭喜一郎・舟木)

〔ジャージー種〕
ウィローロマンズミルキーン
フィア(畑山喜美子・島)

が、それぞれ優等賞に輝いたほか、1等に9頭、2等に9頭、3等に5頭が選ばれました。

また、部門別団体賞では、乳用牛部門で優等賞、肉用牛部門で準優等賞を、団体総合賞では鳥海町に次いで準優等賞を受賞しました。

東由利町の限らない発展の願いをこめて、町勢シンボル塔が建てられた。



活性化をうたい、活力ある町づくりを標榜することはやさしいが、それを実践し、実行させることはむずかしい。

このたび県町村会では、秋田の未来の発展を願い、活性化のためのシンポジウムを開催することになった。これには、特別講師として大分県の平松知事が来県されることが決まった。平松知事は、農村のみかん畑を切り拓き、先端関連企業を誘致し、農工一体、農工併存の地域づくりを実践した先駆者である。私は、近代農業と近代工業を

併存させる―この考え方に共鳴し、企業誘致を実践した。これは―これから21世紀に向けて―農村いかに生くべきか―の課題実践でもある。

ともあれ、東由利町は出羽丘陵に囲まれた緑豊かな純農村であり、稲作と畜産の町であることを忘れてはならない。

さて、真の町の活性化のためには、行政施策と併せ町民の意識改革が必要であり、そのための

町勢シンボル塔を生かそう

意識啓発がより重要となってくる。ことしは、新しい試みとして「地域手づくり事業」を発足させた。これは、それぞれの地域が、またはグループが、地域の活性化のために自らが地域づく

りをした場合に、これを奨励し、賞揚しようとするものである。町民参加の町づくりの実践である。この事業の意図を汲み、町内から既に数件の実践例が報告されている。町に生きる意欲の

報告である。町では、このたび―農村に生きよう―その意欲を表彰するシンボル塔を建立した。

塔には、町のスローガンである「豊かな自然みんなで拓く町伸べる町」と、稲作と畜産の町をあらわした「あきたこまちと由利牛の里東由利町」を掲げ、外部には町をPRし、町内には町発展の努力を啓発するのをねらいとした。

この塔が、町民の心のよりどころとなり、建立の意義が活かされるよう祈ってやまない。



衆・参同日選挙開票風景（7月6日・有鄰館）

6年ぶりの衆・参同日選挙 前回を10パーセント以上上回る好投票率

昭和55年に次ぎ史上2番目の同日選挙となった第38回衆議院議員総選挙と第14回参議院議員通常選挙及び最高裁判所裁判官国民審査は、7月6日に投票が行われ翌7日に開票が行われました。この結果、衆議院秋田2区では村岡兼造氏、笹山登生氏、

川俣健二郎氏が、参議院秋田選挙区では佐々木満氏が当選しました。

また、前回の選挙から新しく導入された、政党に投票する参議院比例代表（届出政党27）では、自由民主党に前回は102票上回る1,711票が投票され

たのに次いで、日本社会党に831票、公明党に508票、日本共産党に92票、民社党に64票（以下省略）の順で投票されました。

いずれも86パーセントの高い投票率

本町の投票率は、衆議院86・72割（前回58年77・46割）、参議院秋田選挙区86・68割（同76・30割）、同比例代表86・68割（同76・30割）で、同時選挙ということもあってそれぞれ前回は10パーセント以上上回る好投票率となりました。しかしながら、55年に行われた同時選挙の衆議院86・88割、参議院秋田地方区86・86割にはわずかに及びませんでした。

参議院選で多かった記載違いの無効投票

今回の選挙では、最高裁判所裁判官国民審査も含め、投票を4回する同時選挙ならではの煩雑した投票だったことから、記載違いなどによる無効投票が多くみられました。特に参議院では候補者名と政党名の書き違いなどによる無効投票が、選挙区で429票、比例代表で596票もあり、関係者を残念がらせていました。

衆議院議員総選挙投票結果	投票区	当有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
	第1(黒淵地区)	345 ^人	299 ^人	46 ^人	86.67 [%]
	第2(住吉地区)	328	295	33	89.94
	第3(袖山地区)	164	143	21	87.20
	第4(館合地区)	952	796	156	83.61
	第5(松柴地区)	79	73	6	92.41
	第6(老方地区)	920	775	145	84.24
	第7(祝沢地区)	62	55	7	88.71
	第8(高村地区)	30	28	2	93.33
	第9(法内地区)	354	297	57	83.90
	第10(蔵地区)	592	546	46	92.23
	第11(黒沢・大台)	88	79	9	89.77
	第12(宿地区)	635	556	79	87.56
	第13(杉森・沼)	90	81	9	90.00
	計	4,639	4,023	616	86.72

衆議院議員総選挙得票結果（秋田2区）

得票順	候補者氏名	当落	本町得票数	2区合計得票数	党派
1	村岡 兼造	当	2,426 ^人	77,619 ^票	自民前
2	ほそや昭雄	落	633	51,244	社会前
3	川俣健二郎	当	444	59,750	社会前
4	笹山たつお	当	347	63,270	自民前
5	もがみ健造	落	36	9,102	共産新
6	みのり川英文	次	29	57,914	無所属新

参議院議員通常選挙得票結果（秋田選挙区）

得票順	候補者氏名	当落	本町得票数	全県得票数	党派
1	ささき 満	当	2,309 ^人	357,693 ^票	自民前
2	石川れんじろう	次	1,149	295,818	社会新
3	こだま金友	落	133	60,298	共産新

5分団が全部門を制す

水防工法の実技を披露・町消防訓練大会

昭和61年度町消防訓練大会が7月20日に台山グラウンドで行われ、通常点検及び小隊訓練に8小隊、自動車ポンプ操作に4班、小型ポンプ操作に16

班が出場、規律や技を競い合いました。競技は午前9時に開始、午後4時の終了まで、日ごろの練習の成果がフルに発揮された、きびきびした操作が繰り広げられました。その結果、5分団（鈴木博分団長）が全部門を制し、4年ぶりに総合優勝を飾りました。また、今大会では特別参加として、町消防団員による水防工



法の実技と、館合地区婦人消防隊による消火栓操作、小型ポンプ操作が披露され、緊迫した競技に息をいれました。特に水防工法の実技は、今年5月に本荘市で行われた子吉川水防訓練大会で優勝に輝いたもので、川倉を荒なわで組んで行く作業は素早く、しかも団員の息がぴたりと合い、周りに詰めかけた観客から盛んな拍手が送られていました。

競技結果は次のとおり。

- (総合)
- ① 5分団 ② 4分団
 - ③ 2分団
- (通常点検・小隊訓練)
- ① 5分団 ② 4分団
 - ③ 2分団
- (小型ポンプ操作)
- ① 5分団 ② 4分団
 - ③ 2分団
- (自動車ポンプ操作)
- ① 5分団 ② 4分団
 - ③ 2分団

子吉川水防訓練大会で優勝の水防工法実技を披露する町消防団員

家族の安全は「家族防災会議」から

もし、わたしたちの住んでいる町に大地震が起きたら……地震に限らず、いざというときにあわてないためにも、ふだんから防災について考えておくことが大切です。

9月1日は「防災の日」。これを機会に、家族みんなで「家族防災会議」を開き、防災について話し合いたいものです。

家族防災会議で話し合うこと

- 家族の役割分担
- 離ればなれになったときの、家族の連絡先と連絡方法
- 火の始末と初期消火
- 家具・危険物などの点検整備

- 避難場所と避難路の確認
- 水、食料などの備蓄と非常持出品の準備
- 災害についての正しい知識



65年をめぐりに町史を編さん

郷土資料館の建設も検討

先人によって築き上げられてきた東由利町の歴史を本にまとめる、「東由利町史」の編纂と、町の民俗資料などを保存、展示する郷土資料館の建設にむけ、このほど第1回目の町史編纂・郷土資料館建設検討委員会が有鄰館で行われました。

会議では、町史編纂の基本方針・内容や、同編纂の年次計画、執筆等について、また、郷土資料館建設のための今後の進め方などについて話し合いました。

その結果、町史編纂を町村合併35周年にあたる昭和65年度までには完了し、同年度には発行したいとしたほか、内容を「正確な資(史)料に基づき通史的に記述する。行政史に偏ることなく広角的視点で時代的特相を察知できるよう記述する。写真、図版を活用し平明な文体で表現し、学問的批判にも耐えうるものとする」などとなりました。

編纂計画初年度の今年、は、資(史)料の収集を行い一部執筆に入る予定で、執筆は矢島町史や仁賀保町史などの執筆を手がけてきた、佐藤周之助氏(矢島町)に依頼することがすでに決



町史編纂・郷土資料館建設検討委員会(7/10)

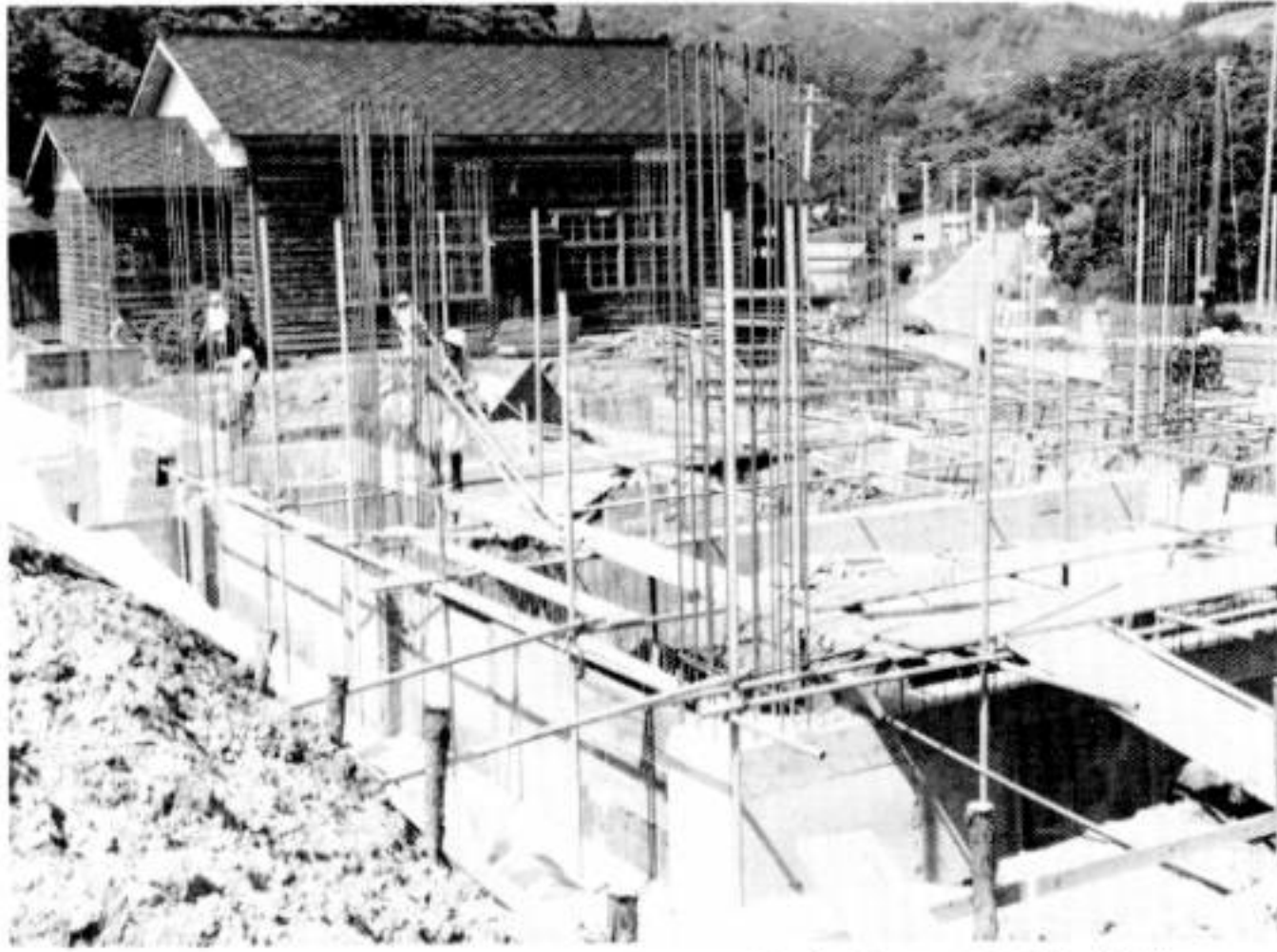
また、郷土資料館の建設については、今後他町村の施設を充て参考にし、町民の要望や町の特徴が組み入れられたものにするための調査検討を続けていくことにしました。

同委員は次の方々です(敬称略)。
小松忠亮(元東由利村助役)、佐藤松之助(町教育委員長)、進藤新(前町教育長)、大野憲司(秋田県埋蔵文化センター学芸主事)、今野銀一郎(矢島町資料館嘱託)、小松耕之助(元町役場総務課長)、笹本信也(東由利中学校長)、梅津嘉一郎(元町公民館長・町郷土史研究会長)

町史編纂、郷土資料館建設についてご意見やご提言をお持ちの方は、町史編纂・郷土資料館建設検討委員会事務局(町教委 ☎ 69-2310)までご連絡ください。

袖山地区多目的 的研修施設の

工事契約など可決



年度内の完成目指し建設中の袖山多目的研修施設

総額で1億円余りを補正

6/30・7/30に町臨時議会を招集

町臨時議会が6月30日及び7月30日に開かれました。
6月30日は袖山地区多目的研修施設建築工事の契約など4議案について審議、7月30日は任

6月30日の臨時議会

農村総合整備モデル事業による袖山地区多目的研修施設建築工事(本体工事)の請負契約を締結▼指名競争入札により、建築工事業者を(株)千葉工務店(本荘市古雪町)に決定、契約を結んだ。

▼みどり保育園の改築に助成するため、黒淵字周治谷地の杉立木を売却処分した。

期満了に伴う町議会各常任委員会委員の選任など5議案について審議し、いずれも原案どおり可決し閉会しました。可決した議案の概要は次のとおりです。

農村基盤総合整備事業における土地改良事業計画を変更▼昭和52年から着手している大琴地区土地改良事業の、事業量、事業費などを変更した。

61年度一般会計予算を補正

▼5千500万円を追加、歳入歳出予算の総額はそれぞれ22億7千6百22万2千円となった。歳出予算の追加の主な内訳は、▽選挙費185万5千円▽町営テニスコート新設事業費5千77万円▽体育施設費2百12万5千円の減

袖山地区多目的研修 施設の建築工事開始

— 完成は62年3月末 —

6月30日に開かれた町臨時議会で袖山地区多目的研修施設建築工事の契約が結ばれたことで、同施設の建築工事が7月2日から始まりました。

袖山地区のコミュニティ活動の拠点となる同施設は、延床面積258・5平方メートルのコンクリート平屋造りで、旧袖山小学校跡地に建てられています。内部には和室、研修室、生活改善実習室、ロビーなどが設けられることになっています。

建築予算の総額は6千70万円で、62年3月末の完成が予定されています。

7月30日の臨時議会

61年度一般会計予算を補正

▼6千6百90万9千円を追加、歳入歳出予算の総額は23億4千3百13万1千円となった。歳出予算の追加の主な内訳は、▽選挙費54万5千円▽環境衛生費36万円▽多目的研修施設費40万円(缶詰加工圧力殺菌釜)▽教育助成費30万円(下郷分校補助金)▽道路橋梁災害復旧費6千5百30万4千円(黒淵字下田面ほか16か所)

財産を取得▼除雪ドーザー1台を、1千7百41万円で購入。購入先▽東北建設機械販売(株)秋田営業所(秋田市川尻町)町議会常任委員会委員を選任

▼任期満了に伴う改選、新たに次のとおり選任した。

◎は委員長、○は副委員長

〈総務財政常任委員会〉

◎伊東庄一郎 ○長沼久男

畠山淳悦 小野要造 遠藤正男
長谷山二郎

〈教育民生常任委員会〉

◎渡辺清一 ○小松悌之助

遠藤忠平 畠山作四郎 小松与
惣雄 川尻幾郎

〈産業建設常任委員会〉

◎遠藤治郎助 ○梅津栄一

小松鉄郎 畑山清一 加藤栄一
小松 豊

みどり 保育園 降雪前の完成目指し 改築工事に着手

老朽園舎解消のため今春から準備が進められていたみどり保育園の改築は、7月25日に起工式が行われ同日から工事が開始されました。



同園舎は、昭和34年以来旧玉米村役場庁舎を改装して利用してきたもので、老朽化が進んでいることから早期改築が望まれていました。しかし、改築の場所の選定などその実現が遅延、本年ようやく移転場所等が決まり改築が実現したものです。

改築場所は館合字向田地内の転用農地で、園舎の床面積は、614・5平方メートル。総工費は9千5百82万5千円で、降雪前の11月中旬には完成する予定です。

地鎮祭は7月25日に関係者50人余りが出席して行われた。



防ごう非行 助けよう 立ち直り

社会を明るくする運動 東由利町大会を開催

長で下通子供会世話人の長谷山

「防ごう非行 助けよう立ち直り」をスローガンに「第36回社会を明るくする運動」が、7月1日から31日まで全国的に繰り広げられました。本町でも7月22日有隣館で「社会を明るくする運動東由利町大会」が開かれました。同運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、本町でもこうした趣旨に基づき、町と本庄地区保護司会が町内関係団体の協力を得て行ったものです。

早目に摘もう 非行の芽

大会には150人余りの町民が参加、午後1時に開会し、はじめ、それぞれの立場を通じて社会を明るくする運動に尽くされた個人や団体に畠山町長が表彰状及び感謝状を贈呈、続いて、町長、本庄地区保護司会長がいさつをし、由利福祉事務所長、町議会議長が祝辞を述べました。このあと、非行に走る15歳の少女が保護司によって更生していく姿を描いた映画「明日ってありますか」を鑑賞、参加者は感銘を深くしました。

大会のメインである討議は、「心豊かな子どもを育てるため」をテーマに、町防犯指導隊長の小野松雄さん（蔵新田）、町少年保護育成委員の小松久隆さん（宇戸坂）、高瀬小PTA副会



非行の未然防止について訴え合った「討議」

誠明さん（下通）の3人が、それぞれの立場で発表を行いました。この中で、小野さんは町内における非行の実態を紹介しながら、非行が長い休みの期間中に多発していることを説明し、この防止には地域をあげて取り組むことが必要と訴えました。続いて小松さんも、町内少年の万引きについての実態を紹介しながら、非行の芽は早いうちに摘み取らなければ、そのために、家庭・学校・地域の3者が一体となった真剣な取り組みが必要と訴えました。また、長谷山さんは、PTAや子供会活動の実例を紹介しながら、親同志の、また教師とのコミュニケーションの

重要性を訴えると共に、町を明るくするためには、皆がもっと積極的な知恵を出すべきであることを訴えました。大会の最後、秋田保護監察所の高橋和己保護監察官が、非行に走った子供には更生願望が必ずある。それをうまく引き出してやるのが大切。補導された子供の9割は家庭内に問題を持つ子供である。そのためにも家庭は円満でなければならぬ。もし非行の芽が出はじめたら、その場ですぐ話し合い対応してほしい」と述べ、大会を閉じました。

今大会で表彰状、感謝状が贈呈された方、団体は次のとおり。

〈表彰状〉（敬称略）

- ・小松三治郎（下小路）
- ・佐藤次郎（蔵新田）
- ・小野廣志（宿）
- ・佐藤松之助（宇戸坂）
- ・町公民館蔵分館・同法内分館
- ・八塩小少年パトロール隊
- ・町連合青年会・指人形サークル

「しるこサンド」

〈感謝状〉

・東北電力（株）本庄営業所

夏休みの非行防止にご協力を

本庄由利地域生徒指導研究推進協議会では、夏休み中の非行を未然に防ぐため、次の「生活心得」をつくり地域の方々の理解と協力を望んでいます。

- 1、夜間外出はしない。やむを得ない場合でも、午後9時までは帰宅する。
- 2、外泊はしない。やむを得ない場合は保護者間の同意を得る。

- 4、交友は健全にし、特に異性とは軽率にならない。
- 5、服装・容姿は乱さず、パーマ、額の深ざりなどしない。
- 7、同級会の会場は出身中学校とし、恩師が参加する会であること。また、夕方までには終わること。

ラジオ体操に励ましを

夏休み期間中のいま、各地域で子ども会を中心とした「ラジオ体操」が、朝早くから行われています。

このラジオ体操は、単に体力づくりのみならず、子どもたちの健全育成にも大きな役割を果たしているものです。朝早いから早起きのできない子どもにとっては苦痛かも知れませんが、ご家族の方はすすんで参加できるよう、励ましてやるのが大切です。

子供の水の事故が多発するシーズンです。親は十分注意しましょう。



がえ来

61年度の公民館主催事業がスタートしてから4か月がたちました。この間、様々な行事が行われ多くの町民が楽しんだり、学んだりしました。特に6、7月は「公民館のかきいれどき」とも言われ、10倍も20倍も楽しい行事がたくさん行われました。今号では、最近行われた公民館行事を紹介します。

10倍楽しかった 公民館行事あれこれ

第1回ふるさとウォークラリー（6月29日）▼矢島町から本町に抜ける歴史の峠道「茶屋長根」を昔をしのびながら歩こうというユニークな企画。お年寄りや家族連れを中心に約70人が参加したほか、公民館職員らが昔懐かしい野良着姿で参加した。矢島町立石から2時間で町境の峠へ。昼食ののちさらに1時間半かけて峠を下った。



第6回父さんゲートボール大会（7月13日・台山グラウンド）▶年々盛り上がりを見せ、今年は32チームが参加。優勝は八塩B、準優勝は田代チーム。

切実な悩みに絶句…涙 「郡内5町手をつなぐ親の会」 本町を会場に開催

心身障害児を持つ親たちで組織される「手をつなぐ親の会」の、由利郡内5町の交流会が7月9日本町有鄰館を会場に行われました。

同交流会は、由利郡内各町にある同会を2ブロックに分け、ブロックごとに会場持ちまわりで行っているもので、本町は仁賀保町、西目町、矢島町、鳥海町の5町のブロック。この日は、本町18人を含め60人余りが参加しました。

交流会では、講話、意見交換、町特養老人ホーム東光苑の視察、懇談会などが行われましたが、意見交換では、心やからだに障害を持つ親としての切実な悩みが出され、同

じ境遇にある参加者らは絶句、目頭を熱くする人もいました。

講演の講師佐々木盛輝由利福祉事務所長は、障害児を持つ親たちに対して「障害児を守るのは親や兄弟…さらに心のきずなを強めてあげてほしい。そして、個々の持つ能力、可能性を引き出すことで閉じ込めりがちな心を開き、社会参加をさせてほしい。」と、励ましのことを話していました。

本町内の同会員は25人。しかし未加入者も多いと言われており、町社会福祉協議会では、こうした会に積極的に加入参加し、互いの悩みを出し合うことで障害児の社会参加を進めてほしいとしています。

人権擁護委員 小野氏に法務大臣感謝状 新しい委員には佐々木君三氏



小野 廣志氏

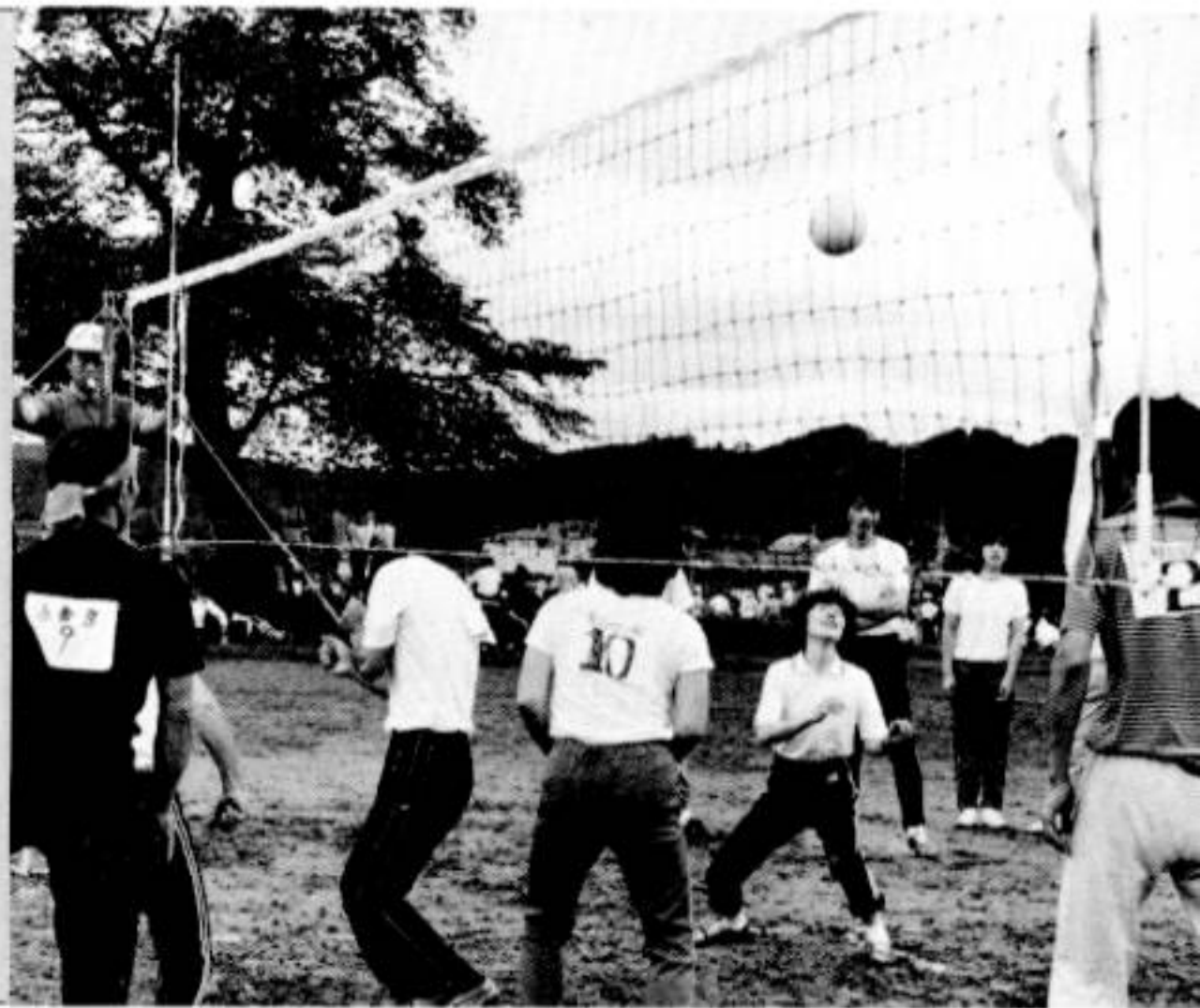
法務大臣から委嘱を受けている本町の人権擁護委員小野廣志氏（84歳・宿）に、このほど同大臣から感謝状が贈ら

れました。小野氏は、昭和40年来多年にわたって町民の人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献されてきており、その功績が認められたものです。なお、小野氏は本年6月15日の任期をもって退職なされ、その後任に佐々木君三氏（70歳・大琴）が選任されたほか、阿部寅静氏（72歳・蔵）、八嶋与四三氏（70歳・家の下）が再任されました。



少年自然教室（7月27～29日・八塩キャンプ場）▶町内小学校6年生73人が3日間の野外生活を体験。八塩登山、ナイトハイク、魚釣り、キャンプファイヤーなどで自然とじかにふれ合った。

第4回家庭バレーボール大会（7月13日・東中サッカーグラウンド）▼出場7チーム。優勝は小倉B、準優勝は中通チーム。



5年生宿泊訓練（7月28～30日・大森町保呂羽山少年自然の家）▼町内小学校5年生76人が寝食を共にする3日間の団体生活を体験。ゲームや創作活動などを通して、規律ある生活を学び合った。



高校生ボランティアスクール（7月22～24日・県青年の家）▼本荘高校下郷分校1・3年生26人が、施設見学、講話などで高校生の社会参加について学ぶと共に、サイクリングや秋田博'86の見学などで楽しい3日間を過ごした。

成人式

今年の対象者は87人

8月15日有鄰館で

成人式は8月15日有鄰館で行われます。今年の対象者は昭和40年4月2日から昭和41年4月1日までに生まれた、左記の方々です。もし、該当する方で左記に氏名のない方がおりましたら、町公民館へご連絡ください。（敬称・旧姓略）

地下ノ沢

宇戸坂

館合新田

畠山一

小倉

長谷山一直 佐藤 政子 高橋 重保 茂 沢 遠藤百合子

黒 淵 小松 一久 須郷田 畠山 明 遠藤 勝

佐藤 隆子 小松 春幸 小野美弥子 上 里 高 村

八嶋 恵子 太田 幸子 新 町 小野 良子 伊東ひろ子

高沢 浩幸 館 西 小松 友一 小野 栄子 大 琴

佐藤智和子 畑山 晴樹 古関 和枝 遠藤 順子 佐々木正勝

智者鶴 成田 文 佐々木節子 蔵新田 小野 寿喜

佐藤スミ子 八日町 佐々木純子 遠藤 弥生 佐々木由美子

泡ノ淵 小松 香 畑山 智明 木島 郁子 舟 木

佐藤 賢 佐藤 博 大日向勝弘 太田 光弘 大庭アケミ

下小屋 高橋ひとみ 高橋 康子 高橋 良子 小野真由美

佐藤 良 山 崎 高橋 康子 高橋 良子 小野 瑞枝

田 代 工藤 成子 横小路 宮ノ前 大 台

長谷山智行 久 保 小松さゆり 小松 等 木島 修子

根田 和春 高橋 時夫 中 通 黒 沢 沼

渡辺 明美 工藤 辰也 小松 幸 千葉 浩子 鈴木 東弥

石 高 板 戸 下 通 小松 正義 鈴木美代子

斎藤あつ子 加藤 祐子 佐藤 達也 野 田 杉 森

小松 敏秀 渡辺みゆき 佐藤 綾子 遠藤 義晴 阿部 達也

家ノ下 石橋万里子 小野 司 阿部 鏡子 小松 清和

遠藤 卓哉 松 柴 寺 田 久 遠藤真由美 猪股 瞳





P T Aの労力奉仕で取り付けが行われるブランコなどの遊具

P T Aが子供の「命」づくり

高瀬小Ⅱ 労力奉仕で遊び場完成

子どもの生活に無くてはならないのが遊び場です。その遊び場が高瀬小P T Aの労力奉仕で、このほど同校脇に完成しました。高瀬小は59年に開校、60年にグラウンドやプールが完成しましたが、低学年の遊び場はありませんでした。このため、町でブランコや滑り台などの遊具を購入、取り付けをP T Aで行ったものです。遊具の取り付けには同校P T A環境美化部員28人が参加、穴掘りや生コン入れ作業に汗しました。渡辺同校長は「遊び場は子供たちにとって「命」。それが業者ではなく父母の手によって整備されたことに大きな意義がある。」と話していました。

町内を桜と梅の観光地に？

蔵桜梅の会が桜を植栽、下刈りも実施

下刈りのシーズンですが、写真に見る下刈り風景は杉山の下刈り風景とはちよつと違います。

これは、7月18日「蔵桜梅の会」(阿部七郎会長・会員60人)が、今年の春に西山の畜産広場周辺に植えた桜の木を、日増しに伸びる雑木から守ろうとして行ったもので、自然をこよなく愛するボランティア活動としての下刈り風景なのです。同会はこれまでも公共施設周辺に桜や梅の木を植え、その管理をしています。同会のこうしたボランティアによって、やがて東由利町は桜と梅の観光地になるかも知れませんね。



畜産広場に植えた桜の下刈り作業をする蔵桜梅の会々員

●歳時記



「〇〇にかみつかれると、雷が鳴るまで離さない」さて、あなたなら、この〇〇に何と入れますか。ヤモリ、トカゲ、カマキリ、ヒル、スッポン、それともカブトガニ? — どれが正解ということはありません。全国各地にいろいろな言い伝えがあるのです。それと雷について一番よく知られているのは、腹を出した子供を戒める時に言う「雷がへそを取る」という話。雷を防ぐ方法についても、いろいろな言い伝えがあります。「桑原、桑原」と唱えるというのはいいていり人が知っています。一説によると、『桑原』は管原

道真(845~903)の所領であった土地の名で、一度も雷が落ちなかったという言い伝えから、落雷を防ぐ呪文になったといわれています。また、カヤの中に入るといとか、年越しの豆を食べると助かるともいわれています。こうしたことわざや言い伝えの真偽は別として、落雷による被害で昨年も7人(全国)が死亡しています。8月30日から9月5日までには防災週間です。災害にはいろいろなものがありますが、落雷の被害への認識も新たに、災害に対する日ごろの備えを強化しましょう。

Machi no wadai

伊東さんが知事表彰

— 県身体障害者福祉大会で —

第5回秋田県身体障害者福祉大会が7月15日に秋田県民会館で行われ、席上本町身体障害者協会副会長の伊東庄次郎さん(蔵新田)に団体育成功労者として県知事から表彰状が贈られました。

伊東さんは、町身体障害者協会の役員を長年にわたって努め、同協会の育成に尽くしてこれたことが認められたものです。

畠山分館長が公民館功労で表彰

— 本荘市由利郡公民館大会 —

第22回本荘市由利郡公民館大会が7月10日に大内町公民館で行われ、席上本町公民館畠山分館長の畠山秀夫さん(袖山)が、公民館活動の功労者として本荘市由利郡公民館連合会長より表彰されました。

畠山さんは、袖山分館の役員を長年にわたって努め、地区公民館活動の発展に尽くされていることが認められたものです。

参加しま せんか 「ふるさと将棋大会」

お盆帰省者との交流も混えた恒例の「ふるさと交流将棋大会」が今年も8月15日に商工会館(横小路)で行われます。年齢問わずどなたでも参加でき、優勝カップや豪華賞品も準備されているということで、主催する

町将棋愛好会では多数の参加を望んでいます。開会は午前10時30分。参加する方は、中学生以下300円、高校生以上千円の会費(昼食代含む)が必要で、参加の申し込みは当日会場で受け付けます。

「披露宴は会費制でしたい」

連青が一泊研修で結婚のアンケート

町連合青年会（藤丸和幸会長）が、6月28日と29日朋楽荘で「魅力ある結婚式を見つめよう」をテーマに、ロマンある一泊研修会を行いました。参加者は女性8人を含む30人でしたが、やがて迎える結婚式について、理想や披露宴の持ち方などについて熱心な話し合いを展開しました。

また、話し合いの材料とするためアンケート調査を実施。その中で、20人が披露宴を会費制でしたい、19人が会費制についての内容を詳しく知りたいと答えていました。なお、理想の相手は「陽気な人」が19人でトップでした。



結婚問題について熱心に話し合う会員

東光苑の「たなばた」に 浅野梅若会一行が慰問

「梅若会」の熱演に聞き入る入苑者たち

7月7日は「たなばた」でした。オープンから3か月余りたった、ここ東光苑でも「たなばた」の会がビックな企画で行われました。

ビックな企画というのは、民謡で一世を風びしている浅野梅若会一行の慰問があったからで、この日を入苑者たちは何日も前から心待ちにしていました。

この日は、本町出身の浅野和子さんと浅野梅清さんも来苑し熱演。入苑者らは、生で聞く民謡に感激し、不自由ながらもながらも精いっぱい拍手を送っていました。

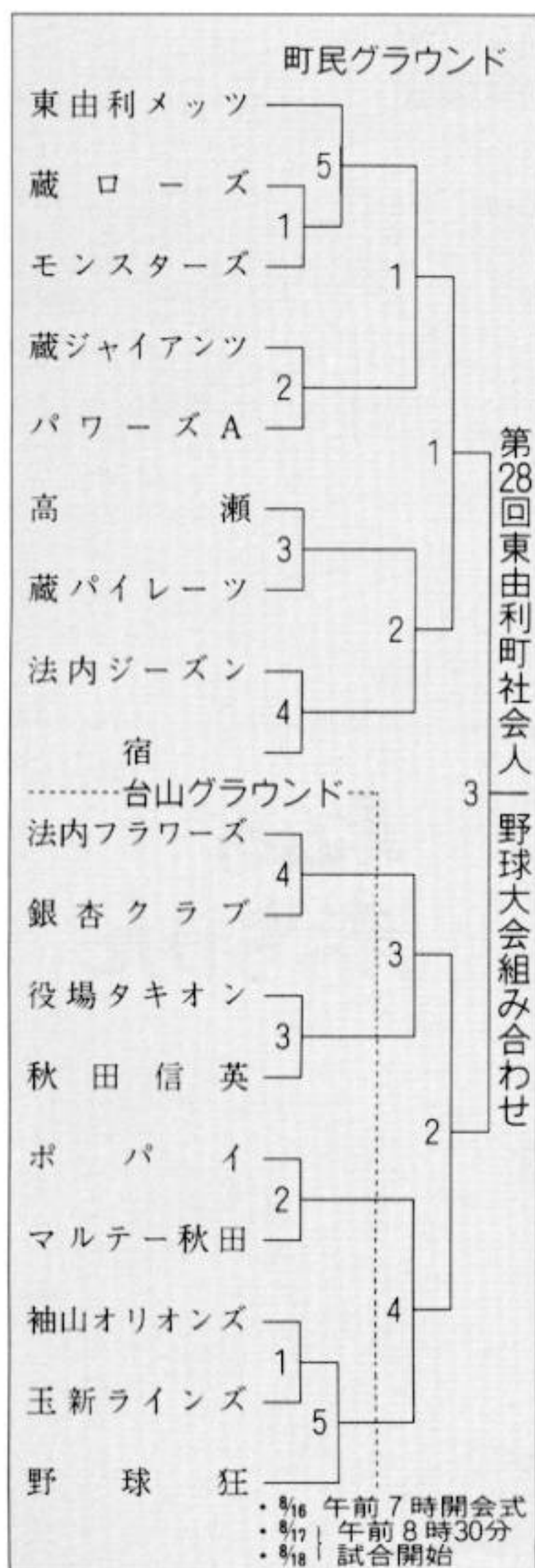
蔵地区コミュニティ 協議会が東光苑会場に

「納涼まつり」開催

東光苑の入居者に地域住民としての認識を深めてもらいたい。また、地域住民のボランティアの心を育てたい——こんな願いから、町公民館蔵分館や蔵地区自治会などで組織される蔵

地区コミュニティ協議会では、8月8日「第1回納涼まつり」を東光苑中庭で開くことにしています。同まつりでは、おもちゃ花火の打上げ、歌と踊り、カラオケなど、楽しいイベントが予定されており、主催側では今後伝統行事としていくためぜひ成功させたいとしています。

開会は午後6時30分で、地域外の多数の参加も望んでいます。



下郷分校が県代表に

第31回全国高校軟式野球選手権大会で準優勝

第31回全国高校軟式野球選手権大会（栃・栃・県立球場）で、本荘高校下郷分校が決勝に進出、能代高校と対戦し6対2で惜しくも敗れましたが、県代表として同奥羽大会の出場権を手に入れました。

奥羽大会は7月31日岩手県営球場で行われ8校が出場、下郷分校は1回戦地元盛岡第一高校と対戦します。

バスケットと剣道が優勝

郡市中学校総体

61年度郡市中学校総合体育大会が7月3日から5日まで3日間行われ、本町東由利中も剣道（女子）、バスケットボール（男子）、野球、ソフトボール、バレーボールの5種目に出場。各種目熱戦の結果、剣道・女子（ $\frac{2}{3}$ 本荘市南内越、コミュニティセンター）とバスケットボール・男子（ $\frac{2}{3}$

本荘北中体育館）が優勝を成し遂げました。両種目とも昨春秋の新人戦と今年春の郡市総体でも優勝、今大会とあわせ3冠に輝いています。

なお、両チームとも7月19日から21日まで秋田市で開かれた第35回全県中学校総体に出場しましたが惜しくも初戦を飾ることはできませんでした。

野球狂が3年ぶり 7回目の優勝

第9回町社会人朝野球大会——町社会人朝野球大会が6月23日から7月13日まで町民グラウンドなど2会場で開催されました。今大会には16チームが出場、熱戦を繰り広げた結果決勝には野球狂とパワーズAが進出、5対4で野球狂が3年ぶり7回目の優勝を飾りました。

夏の大会は8/16、8/18

夏の町社会人野球大会は8月16日から3日間町民グラウンドなどで18チームが出場左記組み合わせで行われます。

みんなのひろば



渡辺 和美さん・田代
21歳・俊治さん二女

ヤングレポート

気さくな板金職人

中年と呼ぶには少し気がひけるほど若さのみなざる畠山さんは、本町に4軒ある板金業者の一人です。

中学卒業と同時に板金職人めざしてお隣の雄物川町へ修業に出た畠山さんは、昭和42年24

われら中年
がんばって
ます！
①7

畠山 庄一さん
新町・43歳



歳で町（生家下通）に戻り腕ひとつで板金業を開始。昭和50年には現在地に新居及び作業所をかまえ現在に至っています。畠山さんを知る人は人柄について「明るく大らかな人」「気さくな人」と、口をそろえて話し、そんな人柄もあって畠山さ

②7

取材に「OK」がでるまで3か月もかかった、はずかしがりや？のこの人渡辺和美さん。今回も「もう少しあとで…」と、しきりに拒むのでしたが、ちよっぴり強引に取材をさせていただきました。（ありがとうございます。）和美さんは、由利高校を昭和59年に卒業、同5月に秋田信英（株）に入社し、現在同社で資材関係の仕事をしています。とてもあかぬけした、都会的センスの漂う21歳の「ギャル」でした。簡単に自己紹介を…

「えーと、B型なのでとてもめんどろみがいいです。私と結婚した人は幸せですよーなんちゃって。趣味は、シヨッピンとドライブ。愛車は真赤のマツダファミリアです。身長は153センチ、3サイズは人並みです。たよりがいのある男らしい結婚相手を募集中です。」
夢は何ですか…
「平凡でもいいから、あたたかい家庭を築くことです。」
いい人を見つければすぐにでもお嫁に…という和美さん。でも2人姉妹で、姉さんはすでにお嫁に行っちゃってます。独身男性諸君！そこそこを確かめてみてはいかがかな。

んの家には、いつも誰ともなく人が訪れています。また、「住宅業界の不振もあり前のように仕事がなくなった」と、板金業の低迷を訴えながらも「そのうち良くなるだろう」と心配げのない話しぶりに、そうした人柄を見つけることができました。現在、高1の長男、中2の長女、商店経営の妻との4人暮らし。将来設計については、「この町で職人として生きるためにはどうしても雪というギャップがあり、出稼ぎや他の仕事に頼らざるを得ない。そうした経験を子どもには踏ませたくない。」とし、「板金業は自分一代の仕事。これから気長に精一杯続けていきたい」と執念を見せていました。

私の赤ちゃん ②5

小松拓真ちゃん（高戸屋）

60・7・26生まれ

肇さんと幸子さんの長男



ようやく1歳になった、わが家のやんちゃ坊主拓真くんです。歩けるようになってからというものの、ちよっぴとしたスキも見のがせません。でも、人見知りしないせい、か、誰にもかわいがられています。じょうぶな、いつまでも愛らしい子でいてね…。

東山利の文芸

貨車発ちて其所に極暑を置き去りに

嫂が来て監る自炊子の冷蔵庫

酔醒めに何かと探す冷蔵庫

岩清水冷蔵庫にして柚は住み

大暑来て牛の好みの二番草

歩道橋越えねばならぬ極暑かな

曲家の板の間なつかし極暑かな

北側に犬小屋移し極暑かな

小松メサコ（下小路）

次ページへ

阿部 義直（沼）

小松鉄太郎（下通）

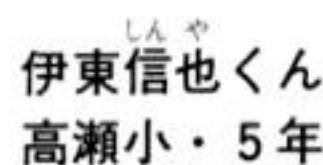
小松慶治郎（高戸屋）

小松 徳蔵（湯出野）

菊地 常作（湯出野）

高橋 秀子（横渡）

小笠原亮子（蔵新田）



遠藤聖江子さん
高瀬小・5年



公民館「圖書」案内

晩酌のひとりを酔わす冷蔵庫
ひと風呂を浴びて開かる冷蔵庫
買い出しの袋大きく冷蔵庫

阿部 澄子（蔵）
小野 貞子（蔵新田）

●遊びなのか学問か（丸谷才一） ●モンローもいる暗い部屋（和田誠） ●ロードス島攻防記（塩野七生） ●子供（スタジオアヌー） ●哀愁の町に霧が降るのだ上・中・下（椎名誠） ●間違いだらけの老人像（柴田博） ●岳物語（椎名誠） ●秋田県民百年史1と3巻（安倍甲） ●大黄河・遙かなる河原に立つ（井上靖） ●昔そこに森があった（飯田栄彦） ●万灯火（渡辺喜恵子） ●ドキュメント昭和世界への登場 ●秋田県子どもむかし話 ●ドラえもん（藤子不二雄） ●タッチ（あだち充）

「**ディサービス**」を始めました

9月には「声かけ給食サービス」も始めます

町では、特別養護老人ホーム東光苑の施設を利用して寝たきりのお年寄りが自宅から通って入浴などのサービスを受けられる、「デイサービス」を開始しました。

「ティサービス」は、脳血管性の病気などで体に機能障害の

月に2回程度東光苑に通って入浴、昼食、簡単な日常動作訓練レクリエーションなどをしていただくものです。

これにより、体の機能の低下防止になるほか、自宅から外出

また、9月からは一人暮らしのお年寄りに月2回程度弁当を配

いずれも無料です

なお、自宅から東光苑までの送迎や、お年寄りの移動作業などは一切町で行いますので心配はいりません。

で疲れている家族にとっては休息日ともなり、一息ついた家族に新たな気持ちで介護についていただけます。

いずれも無料（所得制限あるが現在該当者無）ですが、サーピスを受けるには申し込みが必須です。地区の民生委員または町役場民生係に連絡してください。

達する「声かけ給食サービス」も始めます。



シルバー・ステイブル 秋田

昭和61年9月15日(敬老の日)～21日(日)



●秋田国際シルバーマラソン
●シルバーファッションショー
●シルバー生活展

高齢者の積極的な社会参加への意識高揚をねらいに、「シルバーフェスティバル'秋田」が、9月の敬老の日を中心に行われます。活力ある高齢化社会を創造する起爆剤として企画され、楽しさの中から生きがいや積極的な社会参加を生み出そうと、ユニークなイベントで行われます。

参加を希望する方は、町公民館に申込用紙がありますのでお問い合わせください。（期限・8月22日）

主催・シルバーフェスティバル'秋田実行委員会

「お母さんの生活日記」、「金婚さんいらっしゃい」は休ませていただきます。

わが町 スムアツ



ヘラオオバコ (オオバコ科)

郷土の野草



⑰

全国どこの路傍や原野でも見られる多年草で、ヨーロッパから江戸時代の末ごろ渡来したものです。根は太く、葉は根から直接出ている根出葉です。葉の形がオオバコ（ここではビッキクサといいます。）より細めで長く、糊をねったりするヘラにしているの、このようにいわれます。茎は、そう生して葉よりも長くのび、先に3〜5つの穂状の花をつけます。この草も葉草で、根10gを600ccの水で煮に煎じて飲むと去痰作用があるほか、葉を乾燥させたものを5〜15gを同じように煎じて飲むと利尿効果があるといわれています。傷には生の葉をすりつぶして汁をつけます。（小松忠正）



②⑤

伊藤久子さん
(中通出身・34歳)

想い出すほど懐しい
わがふるさと

下郷中学校を卒業してから早いものでもう19年になります。懐かしい生まれ故郷はどこへ移り住もうと、決して忘れることはできません。小さいころを想い浮かべると、よく近所の子供たちと群がって夕方遅くまで、道路や

空き地でなわとび、石けり、かくれんぼ、ままごとなどをして遊んだことが想い出されます。当時の道路は舗装されておらず、車も少なく、子供達の格好の遊び場でした。また、今の子供達に比べて、外でからだを動かしていた遊びが多かったようです。小学校の子供会でイナゴ採りをし、それを売ったお金で共有のボールを買ったこと——ストープに焚きつける杉の葉を、高

学年全員で山に拾いにいったこと——など、想い出すほどに懐しさがこみあげてきます。楽しく学んだ小学校の校舎は今もなく、さみしい感じがしますが、私の心の中には今でもはつきりと焼きついて残っています。今年6月、東京東由利会が開かれるとのことで、私も参加する機会を得ました。町長さん始め、各議員さんたちともお目にかかり、町の情勢を説明いただき、まるで故郷で会合しているような気持ちでした。故郷の香りほんとうにありがたうございました。（お住い▽横浜市保土ヶ谷区和田1の13の21・工藤ビル304）

元気ですか
保健婦です

保健婦・伊東

②③

主婦は家庭の“健康大臣”

先日、ある会合に出席した折、3年前から町に住むようになったAさんが「東由利の人は、朝晩田畑をやり、日中は勤めて、とにかく働くのでびっくりました。」と話しておられました。疲れていてもそれが当たり前前の環境であれば、誰もが無理をしがちなではないでしょうか。主婦には、一日の仕事の外に家族が快適に暮らせるためのみえない仕事がたくさんついてまわります。家事や、仕事に追われてとなく、自分自身を忘れてがちな生活の中で、自分をふりかえり、ゆとりのある楽しむ時間をつくることも必要ではないでしょうか。

主婦は家庭の“健康大臣”です。まず自分が健康でなければ、家族を守ることはできません。家族みんなのでいきいき、さわやかに暮らす方法を考えてみませんか。

情報コーナー

「秋田をおこすシン
ポジウム'86」開催

県では、若年層流出に歯止めをかけ、若者のUターンを積極的に受け入れることのできる魅力ある地域づくりのため、全県民を対象とした「秋田をおこすシンポジウム'86」

を次によって行うことにしています。

期 日 8月27日(水)・28日(木)

会 場 秋田県民会館・秋田ビューホテル

内 容 特別講演（大分県知事）・基調講演（日本銀行福岡支店長）・パネルディスカッション・懇親会・分科会・

さわやか君

西村 宗



東由利町 バレーボールクラブ

代表・小松昌英さん
(中通)



地味ながらも息の長いスポーツ、バレーボール。バレーボールクラブは本町でも比較的古い存在のスポーツクラブです。写真には6人しか写っていませんが、現在12人の会員がおり、毎週月・金曜日に東中体育館で練習をしています。これまで郡市大会では準優勝2回、第3位1回のキャリアを持ち、今年6月に行われた大会でも準優勝を獲得、9月に行われる県民スポーツ大会への出場権を手に入れました。現在会員募集中です。連絡は ☎ 69-3175・小松まで。

わが町スーパード

町の銘産品「たぎねある記」

⑤

木製箸・樹脂箸

紫檀・黒檀など世界の銘木で製造する木製箸、メラミン樹脂で成型する樹脂箸のいずれもが、一本一本丹念に仕上げられ、堅牢さと使いやすさでは国内外から大好評を博し世界の食文化に大きく貢献しています。特に意匠登録出願済の樹脂成型の「しつけ箸」は、わが国の伝統的食文化の継承の見地から高い評価がなされ、爆発的人気と呼んだ新開発商品となっています。



最近では、ナラ材などによる食卓用品の開発研究にも意欲的に取り組み、すでに試作品ができ上がっています。
(製造元・マルテ秋田・新町)

今月の催し

- 5日・15日・航空防除
- 15日・ふるさと交流会(有隣館ほか)
- 15日・町成人式(有隣館)
- 16~18日・町社会人野球大会
- 20日・町追悼式(有隣館)
- 24日・町民運動会
- 26日・農業委員会

*ありがとう

●佐藤鉄雄さん(寺田)から香典返しに替え金一封が町社会福祉協議会に届けられました。また、東光苑に▼木島敏さん(大台)から紙おむつ2百40枚▼佐藤要次さん(中通)から切り花(アジサイ)1抱▼設楽省

記念講演(NHK鈴木健二氏)・総括講演(秋田県知事)参加料 3千円(2日間)懇親会参加希望者5千円追加。参加を希望する方は、8月10日まで町役場企画係に、参加料を添えて申し込みください。
家出人を捜す相談所を開設 8月1日~31日

行方不明の肉親・知人はいませんか?。警察本部鑑識課および各警察署では、8月1日から31日までの1か月間、家出人や行方不明者を捜すための相談所を開設しています。
場所 本荘警察署

「司法書士電話相談」を開始

秋田県司法書士会が、8月2日から無料で電話での法律相談に応じます。

- 相談日は、毎週土曜日午後1時から午後4時までです。
- 相談内容は次のとおりです。1、不動産の相続、売買、贈与、交換、担保権等の登記に関するもの。
- 2、会社、法人の登記に関するもの。
- 3、裁判所へ提出する訴訟書類の作成等に関するもの。

☎ 0188-24-0187

一郎さん(秋田市)から掛軸1幅が届けられました。ありがとうございました。

おわびと訂正

広報7月号「私もひと言」に登場していただいた小野キヌ子さん(宿)は、高橋啓子さん(舟木)の誤りでした。おわびして訂正させていただきます。

暑中

お見舞い

申し上げます



LOVE 東由利'61

シリーズ・町内各団体長に聞く
テーマ〈私の考える町づくり〉

No. 5 東由利町連合青年会長 藤丸 和幸さん

各単位青年会で行っている盆踊りは、わが町の伝統ある夏の行事ですが、社会の変化に伴ない形も変わってきています。この祭りを盛り上げるために、それぞれ工夫を凝らし独自のものを創り上げていますが、いまひとつ盛り上がりには欠け、盆踊りを中止しようとする青年会もでてきます。これは、会員や資金の不足など、多くの問題から生まれています。しかし、先輩から受け継いできたこの伝統ある行事を絶やしてもいいものでしょうか。こうした現実をみると、私は、全町の祭りが少ないわが町で、この盆踊りを町の事業として取り上げる時期にきているのではないかと考えています。先輩たちの知恵と、若者のエネルギーをこの祭りに生かすことで、活力ある町づくりが生まれると確信しています。



生駒氏も見た眺め

撮影・畠山栄雄さん（茂沢）

6月29日「ふるさとウォークラリー」でのひとコマ。昔ここで矢島藩主・生駒氏が領内を巡視したとか。



「スナップ」に町民のみなさんの撮った写真をお寄せください。

私もひところり……

7月17日、自治会長さんたちによる「町内めぐり」が行われ、町の施設や事業を視察してあるきました。参加した自治会長さんに感想を聞いてみました。



バスに乗るところ3時間。あらためて町の広さに驚くと同時に、随所での整備、施設にこれがわが町かと、ただただ感動するばかりでした。（舟木・大庭時雄さん）



最も驚いたのは出羽丘陵開発事業で造成したゴルフ場を思わせる広い草地と、観光地を走っている感覚の道路。他の人にもぜひ見ていただきたい。（野田・阿部久左エ門さん）



袖山会館と体育館が建設中で、みどり保育園とテニスコートの建設がまもなく始まるということ。東由利は今まさに「建築ラッシュ」の感がありました。（湯出野・佐藤正治さん）

戸籍の窓口

（6/21～7/20届出・敬称略）

うぶ声



小松 慎吾（猛・長男）寺田
佐藤 正樹（貴志・長男）八日町

結婚



佐藤 守 時雨山
遠藤 順子 横渡
小松 仁 大台
伊藤 聖子 秋田市
伊東 国広 蔵
小松恵利子 石高
嶺石 武 島
遠藤 忠子 祝沢

おくやみ



佐藤治吉郎（95 鉄雄・養父）寺田
佐々木トメヲ（75 馨・妻）大琴

町の統計 7月（6/1～6/30）

●人口（ ）内は前月と比較	（ ）内は1月からの累計
・男 3,017人（△4）	●出生 3人（30）
・女 3,106人（△4）	●死亡 7人（28）
・計 6,123人（△8）	●結婚 6組（14）
●世帯数 1,466世帯（2）	●離婚 一組（1）
●ゴミ処理量……………	35 t（217）
●火災発生件数……………	0 件（5）
●救急車出動回数……………	7 件（50）
●交通事故（人身）……………	1 件（7）
●交通死亡事故「0」継続日数……………	2,206日
●総合開発センター「有鄰館」利用者数	1,552人（8,892）
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	725人（2,721）

町民の声を町政に！

町長面会日今月は20日